南　風

田富南小校長通信
No. 22　3月8日（金）

最後の月へ

「三寒四温」という言葉があります。ちょうど2月末から3月初旬頃の春先に用いられる季節を表す言葉だそうです。「冬季に寒い日が三日ほど続くと、その後四日間ぐらいは暖かいということ」が起こり、季節が冬から春へと移り行くことを表しているとのことです。ちょっと学校の周りを見渡すと、梅が咲きはじめ、桜の蕾も大きくなってきています。・・・確実に春がやってきています。

さて、令和6年3月となりました。旧暦は弥生。弥生の「弥」はいよいよ・ますます、「生」は草木が芽吹くことを意味しています。つまり、弥生とは草木がだんだんと芽吹く時期をさす言葉。厄介者の花粉も飛びかう一方で万物が花開く始まりの季節でもあり、出会いと別れの月でもあります。

6年生を送る会

3月1日（金）に「6年生を送る会」を行いました。新児童会役員として初めての活動であり、今までリーダーとして南小を引っ張ってくれていた6年生に感謝するとともに自分たちが6年生の後を継いでいくための意思表示でもある送る会だったと思います。6年生が一人ひとり入場して来るときの、小さなころの写真が映し出され、成長してきた今の自分と比べてみたり、恒例の6年生に関わるクイズ大会、たて割り班ごとで6年生に感謝を伝えたり、と短い時間でしたが、楽しい時間となりました。6年生がリコーダーで吹いた

「春よ来い」には卒業間近の寂しさ・切なさを感じたりもしました。これで、令和5年度の全校での行事は終わりました。あとは19日の卒業式で6年生が堂々と卒業し、新たな一歩が踏み出せることを願うだけです。

5年生茶道教室

前日の夜から雪が降り、寒い1日となった3月6日（水）ですが、南小では初めての茶道教室が開かれました。茶道は華道などと共に日本の伝統的な文化のひとつです。茶道について名前や歴史などは知っていますが、どんな内容なのかを知ることはあまりないと思います。そこで、「茶道表千家同門会」の方々が来校、5年生が茶道を体験しました。（三村小学校では「華道」体験をしたとのこと。）

もともと南小には和室はありません。そこで田富中学校から柔道用の畳を借りてきて、音楽室で茶道の体験を行いました。（以前勤務していた南都留の中学校にはちゃんとした和室があり、同じように茶道教室を行っていました。）自宅に和室（畳部屋）が少なくなっている現在では、畳の上に正座するようなこともないと思います。さらに、ひとつひとつの作法（動作）にも意味があるのですが、何気なくやっていることも、今では普段の生活の中で意味が失われつつあるものもあるように思います。所作という言葉がありますが、ひとつひとつの動きに集中していくと緊張感が出てきて何事にも注意深くなっていくように思います。日本の伝統文化のひとつであり、連綿とした歴史を紡いでいるものでもあります。このまま、興味を持って、続けてほしいと思いました。